

【公報種別】特許法第17条の2の規定による補正の掲載

【部門区分】第7部門第3区分

【発行日】平成22年12月16日(2010.12.16)

【公開番号】特開2009-130899(P2009-130899A)

【公開日】平成21年6月11日(2009.6.11)

【年通号数】公開・登録公報2009-023

【出願番号】特願2007-307108(P2007-307108)

【国際特許分類】

H 04 N 7/173 (2006.01)

H 04 W 4/00 (2009.01)

【F I】

H 04 N 7/173 6 3 0

H 04 B 7/26 M

【手続補正書】

【提出日】平成22年10月27日(2010.10.27)

【手続補正1】

【補正対象書類名】特許請求の範囲

【補正対象項目名】全文

【補正方法】変更

【補正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項1】

入力された画像情報から文字を含む領域を文字領域画像として抽出する文字領域抽出手段と、

前記文字領域抽出手段にて抽出された前記文字領域画像を記憶する文字領域画像蓄積手段と、

前記文字領域画像に含まれる文字を加工する文字領域加工手段と、

前記文字領域加工手段にて加工された前記文字領域画像から文字を認識して文字テキストデータを生成する文字認識手段と、

前記文字認識手段にて生成された前記文字テキストデータを記憶する文字情報蓄積手段と、

前記画像情報や、前記文字テキストデータあるいは前記文字領域画像に関する操作メニューを表示する表示手段と、

外部から入力操作を行うキー入力手段と、

前記キー入力手段の入力指示に基づいて各動作部を制御する制御手段と、
を備えることを特徴とする、画像再生装置。

【請求項2】

前記文字領域抽出手段は、

前記画像領域からエッジ情報を抽出するエッジ抽出部と、

前記エッジ情報と該当フレームより以前のフレームでのエッジ情報とからエッジが静止している箇所を検出するエッジ静止検出部及びエッジが動いた箇所を検出するエッジ動き検出部とを備え、

前記エッジ静止検出部及び前記エッジ動き検出部の結果に基づいて文字領域を抽出することを特徴とする、請求項1に記載の画像再生装置。

【請求項3】

CM(コマーシャルメッセージ)期間を検出するCM期間検出手段をさらに備え、

前記文字領域抽出手段での前記文字領域画像の抽出を、前記CM期間に限定することを特徴とする、請求項1または請求項2に記載の画像再生装置。

【請求項 4】

前記画像情報が入力される間、前記制御手段は前記キー入力手段の入力指示に基づいて前記文字情報蓄積手段に記憶されている前記文字テキストデータを選択し、選択した前記文字テキストデータに含まれる電話番号による電話接続、アドレスまたはキーワードによるインターネット接続を行うことを特徴とする、請求項1ないし請求項3のいずれかに記載の画像再生装置。

【請求項 5】

前記制御手段は前記キー入力手段の入力指示に基づいて前記文字領域画像蓄積手段から所望の前記文字領域画像を選択し、当該文字領域画像を前記文字領域加工手段および前記文字認識手段によって処理して前記文字テキストデータを得、当該文字テキストデータに含まれる電話番号による電話接続、アドレスまたはキーワードによるインターネット接続を行うことを特徴とする、請求項1ないし請求項3のいずれかに記載の画像再生装置。

【請求項 6】

前記文字領域画像蓄積手段に記憶されている前記文字領域画像と、前記文字情報蓄積手段に記憶されている前記文字テキストデータとを関連付けて前記表示手段に表示することを特徴とする、請求項1ないし請求項5のいずれかに記載の画像再生装置。

【請求項 7】

前記文字領域抽出手段は、入力された前記画像情報から前記文字領域画像が消滅したことを検出する文字領域消滅検出手段を備え、

前記文字領域画像蓄積手段への前記文字領域画像の記憶は、前記文字領域消滅検出手段によって前記文字領域画像の消滅が検出されたときに行うことを行なうことを特徴とする、請求項1ないし請求項6のいずれかに記載の画像再生装置。

【請求項 8】

前記文字領域抽出手段は、入力された前記画像情報に対して前記文字領域画像が挿入されたことを検出する文字領域入力検出手段を備え、

前記文字領域画像蓄積手段への前記文字領域画像の記憶は、前記文字領域入力検出手段によって前記文字領域画像の挿入が検出されたとき、または前記文字領域画像の挿入が検出されてから所定画像フレーム後に行なうことを特徴とする、請求項1ないし請求項6のいずれかに記載の画像再生装置。